

2002.08.01			市長
2003.04.01	38	清田 真由美 (水) 内科	院長 清田 真由美
2001.05.15	262(新患)	福重 恵利子 (火) 内分泌 吉玉 珠美 (火) 呼吸器 梅原 恵 (火) 呼吸器 矢野 純子 (火) 内分泌 池田 優子 (火) 内分泌 福留 美千代 (火) 内分泌 加藤 香 (火) 内分泌 牧 優子 (火) 循環器 溝口 悦子 (火) 循環器 ※尚、今後 内容、メンバー構成変更あり	当科教授
2001.12.04			

①初診も30分以上かかります	②女性医師が女性患者を診る	③主人を診ない	④主治医	⑤その他
○	○	○		患者自身が受診できないような相談にも応じる例：娘の月経不順、月経痛について母が受診
	○	○	○	完全個室 ドクター・ナースのダブルI. C.
	○		○	不妊治療、不育症治療、ホルモン、思春期外来が専門だが、その他STD、HRT、内膜症、ピル、避妊などあらゆる婦人科疾患に対応。
	○	○		
		○		必要に応じ、当院および他院の専門医(男性医師も含む)を紹介する。
	○	○	○	・女性皮膚科専門外来(美容相談も可能)もある。 ・予約電話は全て専門看護師が対応し、カウンセリングの役割を果たすこともある。 ・心電図、レントゲンも女性技師。
	○	○	○	当院の女性外来スタッフは女医6名、看護師4名、MSW2名、検査技師2名、放射線技師1名、リハビリ技師1名、栄養士(管理栄養士)1名、薬剤師2名、事務6名すべて女性です。看護師1名はWOC認定看護師の資格があります。院内に女性外来のスペースを確保し、女性外来の時間帯は男性の立ち入りを原則的に禁止します。来院された患者様が話しやすい雰囲気になるようにスタッフ一同努力しています。患者様の待ち時間を利用して栄養指導相談や乳房自己検診、服薬指導、骨盤底訓練リハビリ、医療相談などの講習をしています。
	○	○	○	①女性医師のみならず、臨床検査技師等の医療スタッフも全員女性で構成。 ②女性専用外来の待合室・診療室は女性のQOL向上を目指したヘルスケアサポートにさらに重点を置き、女性患者さまが足を運び易く、かつ正しい医療情報を得られるような院内環境を考慮しています。 ③亀田メディカルセンターと隣接する高度先進医療設備を備えた亀田総合病院も合わせて必要により他専門分野との連携がスムーズです。 ④電子カルテ完備のため情報公開は積極的に行なっています。
	○	○	○	

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	△ 明らかに婦人科医が診察した方がよいもの(子宮癌が心配など)は婦人科受診をすすめる	<input type="checkbox"/>	更年期以降に女性に増加する動脈硬化性疾患の予防にも力を入れている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			保険診療 予約制
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		明らかな症状があり、受診科のわかる方には電話予約の時点で当該科受診をすすめる。カウンセリングのみ。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> (科による)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 原則として	総合カウンセリングにて受診相談を行ない、その後各科が連携し治療にあたる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

① 診療の形態に 30分診療が主 である	② 30分以上の 診療がある	③ 症状を問わ ない	④ 主病室 あり	⑤ その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			完全予約制。カウンセリング料不要。
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		成人の診療能力が不十分⇒相談外来
	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			振り分け外来
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	全てのスタッフが女性です。レントゲン技師、検査技師、全て女性です。
○→「かける」ではなく、正確には「かかる」ではありませんか。初診ではあらかじめ45～60分とっておきます。足りないくらいなときもあります。				
○→女性外来に限らず、当クリニックの初診枠は30分	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	今のところ「女性外来」としての特別枠や部屋は作っていません。患者数が増えれば、外来の1コマ～2コマを女性外来としたいと思っています。
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		多職種(看護師、助産師、薬剤師、栄養師、検査科、)連携
	<input type="radio"/>			1)内診なし 2)超音波検査(骨、乳腺、子宮付属器)の結果説明を検査施行20分後にその場で実施 ホルモン・血液検査の結果は郵送にて対応。来院するのは1日のみ。
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		女性医師希望するptを診る
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		プライバシーの保護に留意している。女性患者様の要望にそえるよう留意している。

① 初診・再診の受付時間	② 女性医師が常駐している	③ 症状を問わない	④ 産科医師	⑤ その他
	○	○		内科と外科の女性医師が診療し、皮膚科・婦人科・循環器・精神科の女性医師が協力体制をとってゆきます。地域の婦人科医師会、女性フォーラム、婦人相談室、自助グループと保健所女性相談窓口と協力体制を整えています。
	○	○		不妊治療や妊娠を始めとして、美容形成外科、乳腺外科、泌尿器科、その他一般的な科(皮膚科や整形、一般外科・内科各?科)はそろっており、入院施設もあり、女性に関することはほぼすべて院内で対応できる。
○	○	○		
○				
○	○	○		
○	○	○		完全予約制
○	○	○	○	診察前の30分間で質問用紙を記入して頂く
○	○	○		補完代替医療に関しても行なっている アロマセラピー 漢方 サプリメント等の説明 音楽療法 等診療に取り入れやすいものを施行→12月に新外来体制がstartするので少々システム内容が変わるかもしれません。
○		○		産婦人科医(主に女性医師)、内科医、整形外科医が常駐し、中高年女性の様々な症状に対応する。
○	○	○	○	初診より予約制。独立した診察室。院内情報に精通した看護職が担当。(看護部長・外来師長)状況に応じた院内外専門医、女性医師、カウンセラーとの連携。東洋医学的診察(舌診・腹診など)と漢方処方、、スコアと抗うつ剤等処方、HRTなどの対応を行っている。産婦人科セカンドオピニオン・一般的なコミュニケーションレベルでの医師と患者間のトラブルに関する依頼。
○	○	○		まず、最初に女性医師が担当し、その後専門性が必要であれば同病院の専門医師へ受診していくというプロセスで行なっています。

診療の初診 可能な土曜日	女性専用診 断の診療時間	診察を希望 しない	土曜診療	その他の事
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		診察室、待合室は他の外来より離し、プライバシーへの配慮を行っている。
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			精神リハビリ科と相談しながらやっている(協力体制あり)内科的疾患の有無も同時に診療している 内診等婦人科的診療は行わない 生活習慣病、骨粗しょう症も含めたライフスタイルの提案
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		主に初診のみ、内科医が診察した上必要あれば他科へ紹介する
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		総合診療外来として専門外来との連携をはかる
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		手紙で症状を詳しく書いてもらって、専門担当者を決める。初診で話をしっかり聞いて、必要があれば専門科あるいは他病院へ紹介する。癌検診希望など明らかな目的の場合一般初診(女性の日)へ紹介し女性外来を断っています。
	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			女性総合外来(相談に約30分) 更年期・思春期外来(診察に約30分)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		診療放射線技師も女性である

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		必要があれば、それぞれの専門医に紹介し、適切な医療を受けられるように支援を行なっている。連携科:当院の前診療科、地域の専門医等
	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	△(希望があれば可能ですが診察担当日に患者さんが来院されるという前庭での話となります。)	
				女性のプライマリーケアに積極的に取り組む。(地域での女性の健康の維持、増進、予防、治療にわたり)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		手術や検査のとき、希望があれば、全て(技師、麻酔医も)女性が対応している。
	<input type="checkbox"/>			①問診を主に臨床心理士(ウイミングカウンセリングも兼任)が15~20分かけて行ない、毎回のフォローや自律神経訓練も行なっている。②チーム診療を行ない医師以外でできる説明はすべて分担している。③疾患や対処法の詳しいものはパンフレットを多用し、健康講座の受講をすすめる。

特徴①初診は30分以上かかる	②女性医師が女性患者を診る	③病状を問わない	④主治医師	⑤その他
初診のみ、再診はなし。30分までかける。	○	○		専属のスタッフはいない。完全予約制で初診患者にのみ対応。再診の場合は診察結果に応じて、また患者の希望にそって専門診療科へ紹介する。
○	○	○	○	①多科連携のもとでの総合外来：外科・内科・精神科といった診療科の枠組みを取り払い、おひとり30分の時間設定で外来を訪れた女性を最初に見る場所「総合外来(窓口)」をつくることで、受診しやすさ、話しやすさを得る。また、予期せぬ疾患の発見や各専門医療へのスムーズな導入、施設の医療の質の向上を目指す。②看護サービスが外来の柱：予約受付のすべてを女性の専属看護師が担当する。このために受診前に、必要な問診のポイントを医療者の視点で確認できる。その結果、病状が緊急を要するか否かの判断ができ、事前に専門医師とのコミュニケーションが密になることで、患者の不安を和らげ医療の満足度を高められる。③院内外ネットワーク作り：院内保育所、臨床心理士、ソーシャルワーカー、栄養指導士(いずれも女性)等のサポートで、診察時間内のお子様預かり、カウンセリングや介護保険システム・食事運動療法の利用等々、病院内外でのサポートネットワークの充実が進む。
○	○	○	○	栄養指導、運動指導、骨盤底筋体操の指導等、担当者が女性外来で指導する。
	○			
○	○	○		
	○	○	○	
○	○	○		完全予約制
	○	○		検査技師、放射技師、受付など全て女性スタッフが関わる 必要に応じ漢語相談も行う
	○	○	○	



○	○	○	○	
○	○	○	○	

女性外来を担当してよかった点
● 病院に行ったほうがよいのか迷うような内容で悩んでいる方が多いという事実がよくわかった。地域の女性の自助グループとの連携が必要と思う。
● 患者さまが涙して喜んで下さること。
● 同性として患者さんの状況を理解しやすい、同感できる。(身体的にも精神的にも) 患者さんが何でも話しやすいと言ってくれる(男性医師には言いにくいことも)
● 診察時間の枠を1人30分とっているので患者の話をゆっくり聞ける
● ゆっくりと時間をとってひとりの患者と対応できる。
● 女性特有の疾患や症状について興味をもって勉強するようになった。カウンセリングに興味をもった。自分の知識や診療技術の不備な点がわかり、勉強の仕方がわかってきた。ゆっくりやる外来を経験できた。今までの診療で感じていたジレンマを感じない診療ができた。
● 今まで自分が女性医師の為か性差に基づく医療に対してあまり考えもしていませんでしたが、今回女性外来受診された患者様のアンケートより、女性医師による診療を受けたい。女性スタッフによる相談・検査を受けたい。体や心の悩みを相談・解決したい。とにかく相談したかったなどの意見をいただくと、女性外来を担当した医師としてよかったと思っています。このことは当院女性外来スタッフ一同も同じ考えと思っています。
● ①女性患者さま自身の自分の身体や健康についての意識が高まる。 ②各専門領域にまたがる(または関連性のある)疾患を総合的にケアできる。 ③女性医療従事者(女性医師も含め)の意識向上に有効。
● 性差に基づく医療の実際を勉強することが出来ること。心と身体を含めた総合的な医療のあり方について考えることが出来ること。社会的な勉強もできること。新しい病態のとらえ方ができるようになった。
● 性差を考慮した医療という視点で診療を行なうようになった。(女性外来以外の外来においても) HRT、漢方、向精神薬の使い方などを学ぶ機会を与えていただき自分の診療の幅が広がった。 患者さんが喜んでくれる(症状がとてもよくなった こんなによく話を聞いてもらえてうれしいなど)時、女性外来を担当してよかったと思います。他の外来より喜んでもらえることが多いと思います。
● 患者さんが女性の先生だから心を開いて話せたと言ってくれた事。担当医自身が更年期をむかえているので患者さんの訴えに共鳴できる。
● 漢方治療ができるようになった
● 一般外来の中ではゆっくりと傾聴したくても不可能なことが多く、患者さんの主訴に対し十分な治療ができないことが多々あると感じていたことが改善しつつあること
● 地域性を考慮すべきことを改めて感じた。
● 患者の訴えの背景が明確になり、より確実な診断につながる可能性が高いと思われれます。
● 患者さんの訴えを時間をかけきくことにより、より正確な診断ができる。例えば不定愁訴などでも、背景(家庭、仕事、人間関係など)を知ることにより、心療内科への確にまわすことができる。また更年期の訴えを根気強くきいているだけでも安心される患者さんも多い。若い女性では月経やパートナーとのsexなどの悩みが多く、同性の医師だと相談しやすいとの声も多い。
● ゆっくり話を聞いてもらいたいという希望が多いため、それに関しては充分話が聞けるので満足して頂いている。
● 当院ではお1人30分という時間で行っておりますが、患者さんの主訴を10分以上かけてじっくりとうかがっているため「話を聞いてもらえて嬉しかった」「行かなければいけないと思いつつ婦人科には行けず悩んでいた」という方から最後には笑顔で帰られる時にはよかったと感じます。
● 女性の医療機関への思い込みが千差万別であることがわかった。
● 特にありません
● 時間をかけて、患者さんの話を聞くことが出来る。
● 30年以上循環器内科医をやってきました。エストロゲンをキーワードにした医療に取り組んだ時受診者の皆さまから、初めて、内科医として、おきざりにしてきた、様々な問題点の解答を得たと思いました。「よかった」というより、「ありがたい」と感じる毎日です。
● どこに行ってもよいかわからない患者さんの窓口になることができる。 その人のライフスタイルごと、トータルな健康づくりに寄与することができる。
● 通常の外来時間の中では、言い足りなかったことなどを聞くことが出来、的確な判断がしやすくなる。
● 比較的時間を気にせず診療ができる。 他職種との連携の中から、違った観点で物を見ることができるようになり、視野が広がった。
● 同姓なので、乳腺や月経等のことを十二分に話し合うことができる
● 女性の肛門疾患の方が楽に受診出来る様になったと思います。 病気について話し、相談しやすく感じました。
● 患者さまが医療側に希望しておられることを明確にしながらい経済効率を2の次にして診療にあたる事が出来る。自分が専門としている産婦人科の臓器疾患に限らず、患者様の悩んでいる他臓器の苦痛、社会的立場等にも配慮しながら診療することができる。

<p>● 長期間悩んでいたが受診できずにいた乳癌や痔の方がやっと女性外来が出来たからと受診できた症例が多数あったことです。皆様女性外来がなければ受診していなかったと言われます。 一人では解決できないDV、いくら医療機関で説明を受けても治療法を選べなかった筋腫や内膜症の方が女性外来から自助グループなどを紹介されて解決の道へ進めたこと。 乳房痛などいくつ病院を受診してもだめだったものが、納得がいて楽になった症例が多かったことなどです。</p>
<p>● 患者さんからの喜びの声を聞くとうれしいです。 また、医療者側も、臓器でなく人間全体をみるということが新鮮で楽しく(という用語がありますが)診療できています。</p>
<p>● 病院へのアクセス方法を拡大したこと。インターネット、電話予約という他の診療と区別することができたこと。(患者の質、診療内容は総合内科の外来とほぼ同様になる。)</p>
<p>● 各科からはじかれた患者がやってきて教えてあげられる事。</p>
<p>● 当院の女性外来は内科系のため、精神科の心理療法士やオンコロジーナース、リネソナースなどのon call体制の下で????できています。又、検査技師や放射線技師も女性が担当することが可能ですので、医師以外のスタッフとの一丸となった協力下での診療ができることはよかったですと思っています。</p>
<p>● 今日、女性患者がかかえている悩みや問題が以前より把握できるようになったと思います。診察時に今まで以上に配慮すべき点が学べて助かっています。</p>
<p>● 1. 当院では、患者様が長く診察時間は例え新患でも30分もかけることが出来ない実状で、ゆっくり患者様とお話ができること。 2. 自分が女性であることが、仕事にプラスになると感じるができること(医学部卒業後今までは、たいがいの仕事は女性であることで差別され、引け目に感じる事のほうが多いのが実状であった)</p>
<p>● 女性どうして理解しあえて、患者様の要望に答えることができ、笑顔とありがとうと言われた時、私のような未熟なものでも役に立てたんだと思えることがあり、担当して良かったと思いました。人生の勉強になっています。 専門以外の科を勉強でき漢方など含め幅広く、治療方針を考えられるようになった。人を心を含め、その人のもつ生活環境も知ったうえで親身にその方に合った治療をすすめる大切さを実感させられている。</p>
<p>● 時間、空間が確保され、医師側としても正面よりしっかり患者さんにむきあえる。 以上のことで問診だけでもかなりの情報が得られると実感。 患者さんが満足される状況がわかる。コミュニケーションが確固となっていくことが経時的にわかる。 現在のこの地域の医療状況の問題点の一部がわかる。</p>
<p>● 長年の思い、悩みを解決できる糸口ができたことと喜ばれる方が多いのでその時はこういう外来の必要性を感じる一方。非院というのは非常にいきにくい、こわい?所なのだろうと感じました。</p>
<p>● 専門に片寄らない診療チャンスを得て、全人的医療の大きな入口をその先を見つめる事ができたと感じています。実際にも患者さんからの予想以上の反応があり、全人的医療の必要性を実感でき実践してゆける事が女性医師としてののはげみともなります。</p>
<p>● 女性同士、気兼ねなく色々話ができる。親身の相談に乗れる。</p>
<p>● とくになし</p>
<p>● 受診をためらっていた、あるいは前主治医とのコミュニケーション不足によって放置あるいは適切に治療されていなかった症例なりを発見・診断し、治療に導くことができたこと。</p>
<p>● 年令を問わず女性の患者さんが気楽に相談してくれること。乳癌の疑いがあるがという方も気楽に受診し、その後専門医師に相談できる点</p>
<p>● “今までこんなに話を聞いてもらって、しっかり説明してもらったことはなかった”と涙を流して帰られる患者さんを見て。</p>
<p>● 今まで何十年も受診できなかったような患者さんが多く、また若い女性も受診しやすいようです。</p>
<p>● ゆったり時間が取れるところ</p>
<p>● 長年男性医師には言えずに悩んでみえた方とかが、“新聞を見てこれだと思って来ました。”とか言われたときにはよかったですなと思います。</p>
<p>● 女性の悩んでおられることが想像以上に多岐にわたることがわかってきた。</p>
<p>● 何といっても受診者が喜んでくれるのが実感できること。自分自身にとっても専門分野以外の知識を得られたことや、医師としての方向性を見つめなおすきっかけになったことは有意義だった。また、地域の産婦人科の女性医師との連携ができたことが収穫だった。</p>
<p>● 今まで病院の門をくぐれずに、ひとりで悩んでいた女性が案外多いことに気づいた。 更年期以降の人生を楽しく暮らしていきたいという願望を持っておられる方が多い。 時間をかけて、ゆっくりとお話を伺うだけで、様々な症状が改善された患者さまも多かった。</p>
<p>● 需要が多いようなので、女性医師に話を聞いてもらって満足される患者さんの要望にこたえられて良かったと思う</p>
<p>● 女性のかかえている悩みを知ることができた。自分が女性というだけで?役に立つことができた。</p>
<p>● 「自分が痔であることを誰にも言えない、相談できない」「男性医師にお尻を見せるのが恥ずかしい」という理由で受診をためらっていた患者さんが来られるようになった点。痔だと思っていたら実は直腸癌や肛門癌だったというケースもあり、女性医師ということでこのような患者さんの受診のきっかけになればと思っています。</p>
<p>● 女性外来という立場にして患者さん側にこちら側の意向が伝わりやすい</p>
<p>● ゆったりと話をきくことが出来、信頼関係を作りやすい。 来てよかったですと言ってもらえること。</p>

● 女性によろこばれる
● 受診した患者が、比較的満足している様子であり、十分に話が聞ける点。日々の診療では、時間にゆとりがなく、ゆっくり話を聞いている時間がない。
● 患者様から喜ばれていること。
● アンケートもとっているのですが、泌尿器科外来受診の敷居が低くなった。他人にも紹介したい。ゆっくり症状を話しただけでも大分症状が軽くなった。と言って頂くことです。また、「膀胱鏡検査を受けねばならないだろうと思っていたので、女性外来を選んできました。」と言っていただくことがあります。
● 女性のかかえる問題点(特に精神的、社会的)とその対処法を学べた。コミュニケーションのとり方が上手くなったことと人の心の動きとそれが引き起こしている問題について対話することができました。「先生に会えて本当によかった」と嬉しい言葉をいただくことが多い
● 医師として、自分が女性であることが活かされる嬉しさを感じます。一生を通して、どんな経験(出産や病気)も無駄ではなく、前向きに女性として人間として医療に携わっていけると有難く思います。
● 専門外来以外の領域の患者さんの診療ができる。 専門外来では限られた時間内で、訴えのある部分のみ診療してきたが女性外来では時間をかけて診療できるのでこちらから問いかけて全体的に診療することができる。
● 肛門科に来院しにくく悪化していた患者様が気軽に来院できるようになったこと
● 受診に踏み切れないでいた方が「こういう外来なら」とこられる側面があり、治療のきっかけを作り、動機づけを行う場として重要と感じています。
● 自分の専門分野に関しては専門的な検査・診断を行え、専門外の症状・悩みは自分も考え、勉強できる。女性患者様が“来てよかった”といて下さること
● 他科領域の疾患にも触れるため勉強になる
● 全人的医療であると感じることができた。 同性としての期待の大きさにやりがいを感じることができる。 総合病院の中で女性スタッフ中心という診療体系は各々の他科との連携が強くなった。 はじめて「gender」を意識できた。 ※スタッフからの意見をまとめました。
● 少しの不安でもきちんと説明し理解してもらおうことが出来た時
● 一般の患者さんに混じって、更年期の女性だけを30分も話を聞くと、他の患者さんの待ち時間が長くなり、不公平感、不満となっていた。初診で特に長い時間を希望する方、まず相談からしたい方には、予め女性外来を選択していただき、ゆとりと30分以上時間をかけて話を聞くことで、患者さんの満足度も上がり、他の患者さんの不満も解消できた。
● 器質的には異常が認められなくても様々な症状で苦しんでいる患者さんの存在を知ることができた。

女性外来を担当して困ったこと
● どんな主訴が来るかわからないので、当初はかなりストレスになったが今は慣れた。しかし、新たな担当医を打診しても「すべての主訴に対応」というところで尻ごみされてしまい、担当医が増やせない。
● レイプ、DVなど犯罪と思われるケースの対処について
● 患者数が多く、待ち時間が長くなってしまふ。(2~3h待ち) 予約制にすると少数の患者にしか対応できない。外科、URO、内科etc、他科の女医が少なく、紹介や連携をとる時に女医はみつけにくい。
● 来院患者はあらゆる症状で期待も大きいいため改善がみられなかった時の落胆が大きい。ニーズは多いが限られた時間で対応せざるをえない。
● 専門分野でないことは自信を持って説明しにくい。研修の必要性を感じる。地域の女性医師や女性医療の専門家の情報が十分に揃えられず、紹介先に苦慮する。特に遠方からの受診者に、タイムリーな医療機関の情報が提供できない。女性外来中でも女性外来以外の通常勤務(病棟からの問い合わせなど)を要求される。女性外来を担当すると自分がとても疲れる。
● 今まで自分が診療している専門以外での主訴で来院されている患者様の為、まだ患者様の話を聞いて相談にのっているような状況です。外来患者様は予約制の為、どのような方が来院するかある程度わかって予習をしていますが、やはり心療内科・精神科に関する症状の訴えに対してどのように対処してよいか判断に困ってしまう症例もあります。そのような時、専門のどの方に御教授していただけないか現在検索中(検討中)です。
● ①完全予約制のため患者数がこなせない。(予約、特に新患の予約待ちが多い) ②各専門家の女性医師が各専門分野の診療能力はもちろん、高い総合的医療レベルが必要なため、単に女性医師というだけでは女性専用外来への参加をお願いできないため、①のような状況です。
● 他の一般内科業務との両立が難しいこと。精神的及び身体的負担を合わせて受けること。
● 女性外来を担当してから、2回程体調を壊しました。(自分が女性外来で診てもらいたいようでした) 様々な症状を抱えて、何とかしてもらいたい、何とかしてもらえたらという患者さんの期待に答えようというプレッシャーが原因だったように思います。精神科も婦人科もない病院で、一人で女性外来を担当するのは、大変だと痛感しています。また自分の体調が非常に悪い(高熱の時など)時に代わってもらえる人がいないことも困ります。再来がどんどん増えてきてやがては外来はパンクしてしまうのではないかと危惧しています。
● 自分の専門外の内容の主訴
● 人生相談をされても力になれない
● 専門外の病気であっても患者さんが女性外来の方がじっくりと診察をしてくれると感じ、再診を強く望んでくること。
● 明らかな症状があり、早めの診断治療が必要なのに受診までの時間がかかっていること。
● 待ち時間を最小限度にする為、全予約制としていますが、電話でキャンセル料、自由診療をあらかじめ説明する為受け業務が通常の病院クリニックに比べ難しいのではないのでしょうか？ 1日に診療する患者数が限られるため、経営面でも考慮する点が多くあります。
● 時間にゆとりを持って患者さんと接することが出来る反面、経済面では問題点が多い。現行の保険診療では医学的知識に基づいて話をすること自体全く収入につながらない。しかし、患者さんの多くは自分の訴えをきちんと聞いて欲しい、また自分の病気についてゆっくり説明して欲しいという希望は強い。反面これに対していくばくかの金銭がかかるということにはコンセンサスはない。今後医療体制の整備が必要かと思う。
● 特にはないが、相談(ピジター)が精神科関連が多いため、なかなか予約が入らない。今後は精神科助教授が(配転して)専任になったので、解消されると思われる。
● 予約をして来院していただいているのになかなかお話をしてくれない方に対するの対応。
● 万能であることを期待されて受診される方がいる。
● 性格的に不安定な患者様が多い。 専門外の問題を解決するために他の医師を紹介しようとしても女医に拘る患者様がいる。他の病院の女性専門医を紹介しようとしても遠いから行きたくないと思われ断られてしまう。 話が長くなる患者様が多い。
● 精神的な面をfollowするバックアップ体制がない。
● 今はもう何もありません。開設1年で、ほぼ当クリニックの型が定まり、10年が過ぎました。1日10~20人を診ています。小さいクリニックで、最少人数のスタッフと共に理念を一つにした。これはこれでもう完結しているという感じがするからです。これを拡張拡大すれば、これは必ず村崎(創設者)の意とするものとは異なる面が一人歩きすることになるでしょう。デザイナー村崎の直営のブティックと考えています。
● 「女性外来」自体の定義があいまいであるため患者・医療者互いに何となくこのままでは情性になってゆくおそれがあるのではと感じています。
● 専門外の疾患の時、紹介する医療機関内に女性専用外来があるか否かが困る(特に婦人科は女医の先生を希望することが多い)
● 予約がとりにくいとの理由で、受診希望者に迷惑をかけている。 婦人科等との連携(今のところ上手く行っており、困っている訳ではないが、引き続き工夫していきたい)
● 女医による婦人科専門医の紹介希望の場合、近くに適切な施設が少ない
● 特にありません

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精神科、心療内科への転科が困難である場合がしばしばある。(結局、上記2科へ転科すべきと考えながら当外科でfollow upしてしまっているケースもある。) 他科疾患に対しての勉強不足を痛感することがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診希望者が多くて対応しきれません。女性医師の人数が足りません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● とくに困っているわけではないが、時間がかかる割に検査や処方は少なく、相談のみという方も多いので、経営的には困っているかもしれない(私は勤務医なので…)でも、病院の看板としてやっていることであり経営側も別に何も言っていない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療の問題ではないことも相談内容には多く含有される。コストパフォーマンスが悪い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間が足りない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振り分けする科が婦人科に片寄るため、婦人科(更年期障害担当)の負担が大きくなること。各科にすべて女性医師がいないこと、また転勤などがあるため継続性に不安があること。病院内で特別視されることも危惧されます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性専用外来に受診されたことのある患者さんが体調不良などを理由に病院に来院された場合、必ず、最初に呼ばれてしまうので手術中や非番の時は困ることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1. 自分の専門領域以外の患者様の診察や治療には満足行く対応ができないこと。</li> <li>● 2. 患者様は婦人科(H15年7月末で40%が相当)と精神【(心療内科(H15年7月末で23%が相当))]的な疾患が多いのに、その科の女性医師や精神科に関しては常勤医師が不在であり、担当患者様を他施設に紹介せざるをえないこと。</li> <li>● 3. 女性専用外来の診察室は他科診察室を午後からお借りしている状況であり、午後まで他科の診察がくい込み、予定通り女性専用外来の診察を始める事ができないこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本当の精神科の疾患の患者さんが来院してリピーターのようになくなってしまって、どのように対応してよいのか迷いました。又、受診患者さんの多くはほっとされるのか涙を流す方が多く、慣れない時にはとまどいました。精神科とのボーダーのひきかたが難しく、どのようにしたら良いか教えていただけましたら嬉しいです。産婦人科領域の疾患がやはり多く、産婦人科の女性医師にすぐにお願ひしても外来にでていない曜日やopeでいないなどであらためて受診してもらおうことがあり患者さんに負担をかける。乳がん検診で女医希望でこちらからは対診をだしても、医局の方針で最終診断は上の先生(男性医師)が行なうことが多く患者さんからクレームがきている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひとりひとりの患者さんに十分な時間をかけることが困難</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「分裂病」と考えられる患者さんが受診したいと望まれる。精神科では話を聞いてもらえないからこちらに来たいと言われる方が少しずつ増加する可能性。連携をとっている精神科医師(患者さんが満足される医師)はあまりに患者数が多くなっており、申し訳なくなる。より多くの精神科医との連携が必要。心療内科、精神的知識、カウンセリングの技術などやはり必要かと思う。内科、外科、泌尿器科的内容(自分の専門外)は連携をとることで対応しているが、自分自身の知識をここまで持つべきというのがあると思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最初の予約でどんなことなのか(主訴)について何うことができる人のみ聞いてますが、全て自分の専門以外のことなどせっかくな来ていただいてもあまり解決できないと申し訳ないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内の他科や他医療機関との連携 自分の専門外の分野に関する情報不足と研鑽の機会がない事</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遠方からHPなどを見て来院される方の中には既にあちこちの女性外来等受診歴があり、どちらかというとも真の更年期よりも精神的、性格的な問題を抱えているのではないかと感じられる方がいること</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 泌尿器科、精神科は女性医師がいないこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験豊富で有能な女性医師の確保 各々の専門家診療との両立(時間的問題) 心療内科、精神科担当医が一人のためゆとりがない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産婦人科が併設でないため必要に応じ他院へ紹介しなくてはならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有志で女性外来を運営しているので、女性職員のいない科(現在泌尿器科・皮膚科)が適当と思われる患者さんを振り分けるのに苦労しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の医師の診断も参考にしたい時、男性医師にかかる事を嫌がられる方がみえるので気をつかう</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 神経症、心身症的なケースがおおいこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本格的な心の悩みの方(精神科にかかった方が良い方とか)とかの対応には困ります。精神科とか受診してもらう様にはしていますが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各科すべてに経験豊かな女性医師がいるわけではない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初でも初・再診にかかわらず、1人あたり最低30分間の診療時間をとっているが、保険診療なので収益面での実績が上がらないこと、存続できるかどうか危機感はある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「女性専用外来」受診後、各診療科での継続診療ではなく「女性専用外来」での継続診療を希望される方が多く、説明に苦慮している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性医師ということで種々の科の医師が担当しているため、最も受診理由の多い婦人科領域に関しては専門外であり、適切な助言が出来ているかどうか不安である。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訴えや疾患が多岐にわたるため、自分の専門外の内容への対応に苦慮する。当院にない科(心療内科)の訴えが多く院内だけでは対応できない。通常の日常勤務の上にさらに追加して担当しているため女性医師の負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男性医師には決しておしりを見せたくないという強い要望で手術に男性医師が立ち会うことを拒否されたり、日・祝日の回診も男性医師だと診察拒否したり、病院内で男性患者と顔を合わせることも嫌だと部屋にこもられたりした点。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 科の範囲を超えて多岐に渡る疾患への理解を必要とする。重症患者を診ながら片方でこんなにゆったりとした時間(空間)が同じ病院内に存在することにとまどうこともある自らが進んで自力で勉強していく時間を見つけることが難しい(女性総合として)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● クリニックであり、総合病院と違っていつ来ても同じ医師に診療を受けることができる為、初めは1人に時間をかけるコンセプトで始めたのに、混んでしまって全く3分間医療にならざるを得ない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産婦人科の女医が常勤で不在であり、9月より非常勤で月に1回来てくれるが、患者から希望があった時に少し困っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人に時間をかけることで、診療できる人数に限られる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問診に30分以上かかることがたまにあり、中断しきれないこと。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全部の方に時間をかけて診療は不可能。できるとしても1日15人まで。ご本人の自覚がよほどないと女性外来担当Drの養成には時間がかかる。ある程度の年齢と社会的な経験も必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県外より受診の方々に、住居近くで適切な医療機関を教えて欲しいと希望された際、女性Drのネットワークがあればと思他科の中には前医からの紹介状がないと治療を当院ではできないという医師もあり、その後のフォローに支障があることが以前あった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門外来に紹介する必要がある場合、紹介先でも女性医師を希望して譲らない患者さんがいる。予約時の電話対応に時間がかかる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県下で一施設なので遠隔地から来た患者さんに対してできることが限られている。「心の問題」の診療に技量不足を感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予約制にしていないため、お待たせすることがある(長い時で2時間)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 担当医が1名にて、他領域の疾患の場合対処に困るケースや、他科を多数受診して異常ないといわれた患者さんが受診するがその時の対処が困難である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者さんから一度に身体的・精神的訴えの解決を期待されること。医療以外の生活面などに悩みがある場合などカウンセリングを行えるスタッフが必要と感じたこと。女性外来を訪れる患者は、一般の外来と異なる悩みが多いが参考となる資料も少ないため全国的に協力して対応できるような勉強の機会が欲しい。 ※スタッフからの意見をまとめました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性専用外来と広報した日は、午前中の普通診療の時も男性患者が敬遠した。普通の診療でも、長く話しをできると勘違いして話込む患者さんも出てきた。“女性の患者を女性の先生が…”ということで、不必要に女性の先生を指名し、診療上のバランスが一時期くずれた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診される患者さんの訴えが多岐に渡り専門外の疾患が多い。病院全体で取り組んでいないので、他科や男性医師の協力が得られない。</li> </ul>

患者さんからの声

- 「よかった」という声は多いが反面、その後何の音沙汰の無い方は、きっと不満だったのではないと思われる。(他院へ紹介しても返信の無いような場合、多分紹介先へ受診していないと思われる。)
- 予約制に変わったことに対してのとまどい
- 待ち時間が長い。いつも混んでいる。
- 女性の医師なので、男性医師には言いにくいことも話せる。
- はじめて話を聞いてもらった。どこへ行っても気のせい(年のせい)だから「気にするな」と言われていたのでつらかった。
- 初診後のアンケートは、総合評価として、満足度80%、まあまあ17%、無記名3%という結果で、月を重ねるごとに口コミによる受診が増えてきた。  
フリー回答: 良い点は、十分な診療時間、説明が丁寧、女性の立場でのアドバイス、気安さと安心感、長年の悩みを相談できた、心強い、医者不慣れが和らいだ、等。 要望は、質の良い診療の継続、他施設での開設、各科の女性医師の充実、多くの人に宣伝して欲しい、等。  
悪い点は、予約の対応時間が限られている、予約から受診まで待ち時間が長い、開設日が少ない、等。  
その他、女性外来を待っていた、知人に女性外来を勧めたい、等。
- 男性の医師や男性の方が居る環境では話づらいこともあるがここならゆっくり話すことができる。  
話しやすい雰囲気ややさしい配慮で安心できた。  
先生が一方向的に話すという感じではなく、選択肢を教えて下さったり、自分の考えを聞いて頂いたり、質問しやすかったです。  
患者の意志を尊重して頂けていることがとても嬉しかったです。  
待ち時間が長い(どうしても30分以上になることもあるので)  
予約がすぐに入らない(婦人科約2ヶ月待ち)
- 診療時間にも余裕があり、各専門科の女性医師が診療することで安心感や信頼感が持て、自分の疾患や加療への意識が高まり結果として治療効果が一般外来より良いとの意見が多い。重篤な疾患がないことが解った後も、今後はもっと気軽に医療機関を受診することの重要性が認識できた。
- このような外来ではじめて自分の病気がなおった。(更年期障害、精神的疾患など) もっと全国に広がってほしい
- 症状について時間をかけて診察してくれるため安心感がある。  
担当医が女医なので女性特有の病気も気兼ねなく相談できる。  
漢方薬やホルモン補充療法により病状が軽くなった。  
先生に出会えてよかった。 など
- 若い女性からは産婦人科的質問がかなりあります。産婦人科を紹介しても受診率は低いです。更年期以降の女性では精神的な訴えを主訴としている方が多いように思えます。
- 前医に対する不満
- 男性医師の前では話せないことも話すことができる。  
十分な時間があるので話をきいてもらえすっきりとした。  
一般外来で女性特有の細かな症状は言いづらいのでこのような外来があり助かる。  
更年期症状はがまんするものではないということをきいて安心した。 など。
- 話がゆっくりできてよかったとの声
- 女性スタッフだけなので安心する。  
婦人科、内科、心療内科、乳腺科があるのでここだけで済ませられる。
- 全体的に安心して受診でき、よかったとの声が多い。
- 「病気がどうか」「何科を受診したらいいのかわからない」「セカンドオピニオンを聞きたい」などの相談内容が多いため、「こんな所を探していた」というニーズは多いことがわかる。当センターから他科に依頼した方について、3ヶ月後にアンケート調査をしているが、その時、当センターについて、予約時の電話の対応、相談を受けた医師への満足度は良好である。
- 満足度は高い。  
追跡調査でも不変
- 特にありません。
- 更年期諸症状  
癌検診希望
- 乳腺の診察であるだけに話しやすいとか、あまり緊張しないで済むとかという声が聞かれます。
- 当然「救われた」「理解されて嬉しかった」「元気になった」等の感謝の言葉は沢山いただきます。  
お口には出さないご不満があるとすれば、私どもは自由診療をとっていますので、高額な医療費についてはお立場の中でおつらく思われる方もいらっしゃると思います。
- 話がしやすい。  
どこに診てもらいにゆけばわからなかったの、「女性外来」という標榜はゆきやすい。
- 気分がスッキリした。相談してよかった。気が晴れたなどの精神的負担がとれることが多い。自分の中での悩み事の相談がとても多い。
- 調査予定



<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女医・女性スタッフでの対応に満足 今まで経験したことのないドックでおもしろかった 今現在の自分の体が具体的にわかった</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特に当院は肛門が中心ですので女性のptからは“長く悩んでいましたが安心して受診できます”とか、“はずかしいですが女性DRなのでおもしろくて受診できました”などが多いです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の医療機関で相談できなかったことについてゆっくり話ができよかった。 女性の医師の診療が受けられて良かった。 男性のスタッフがいないと思っていたのに、隣の診察室で男性の医師が診察をしていたのがびっくりした。等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性医師がいても、普通の外来ではとても言い出せないが、女性外来なら話せる。(陰部搔痒、口膣への性感染症の不安など) 病気という程の症状ではなかったので病院に行けずにいたが、女性外来はまず病気なのかどうかから相談できるので来やすい。 よそでHRTを受けており、質問してもちっとも答えてくれなかったが理解できた。 他の外来も女性外来のようにプライバシー、内容についてもっと検討して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● どの科にいけばよいかわからなかったが、女性外来があつてよかった。 女医さんが必ず対応してくれるというので安心してきた。 他院ではゆっくり話を聞いてもらえなかった(ゆっくり説明してもらえなかった)が、女性外来にきて話を聞き、聞いてもらい納得できた。等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未調査</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 依然としてホルモンという怖いや、薬には頼りたくないという方がいらっしや、カウンセリングが必要な方も多く、週1回だけなのかという意見がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 十分な話を聞いてくれたことに対する満足度はかなり高いように思われます。どうしても納得のいかない症状や不安が解決されたことに対する感謝の気持ちは大きいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● リラックスしてちゃんと話ができ、女性同士なので気軽に何でも聞くことが出来た。 プライバシーが保たれていてよかった。 病院に来ているという感覚がなくてよかった。 内診がこわくなかった。 スタッフの対応が良かった。 今までの不信感が解消できた。 自分の症状について適切な解答が得られてよかった。など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当院では初診終了後アンケートを記入しているが、9割は「かかってよかった」と書いて頂いている。 しかし、当院での体制は婦人科診察がすぐにはできない状況にあり、婦人科診察を期待して来られた患者様は、予約を2ヶ月待ってすぐに診察して頂けない事がかかりされている。 同様に、精神疾患の患者様は各精神科の病院をいろいろ回っても、改善なく不安や不満を持って来られており、更に内科または皮膚科などの疾患も伴っており、総合病院で精神科と共に他の疾患も診察を希望されて来られるが、精神科の常勤医師が不在の為、かかりされる。 女性専用外来の患者様が再来される場合には、診察場所とマンパワーや時間の関係から一般診察患者様と同じ日に来院されるため、待ち時間が女性専用外来初診時と比べ極端に長くなり、診察時間も十分に取れないことで、不満が見られる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまで敷居が高くて受診したり質問したりしにくかった部分がしやすくなった。一回の診察時間が長いので落ち着いて何でも聞いて良かった等 話を聞いてくれて楽になった。今までこんなに話を聞いてくれた外来はなくて嬉しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ほっとできる。何を話してもよいという安心感。 ストレスのせいなどと片付けられずにとりあってもらえてよい。 待たなくてよい。 女性医師だからよい。 紹介してもらえてよい。 漢方、HRT、抗うつ剤など解決できてよかった。 婦人科系に関しては十分な説明で納得できた。 よくなりたい、治したいという意欲がでてきた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 30分以上かけ、ゆっくりと話をきいてもらえ、女性なので話しやすかった。といった声がきかれます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間をかけて診療を受ける事により自分の症状、病態に対する理解を治療者と共有できた。 男性医師に話しにくいパートナーとの問題や、泌尿生殖器に関する悩みが相談できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 礼を述べる電話があった。把握していないかもしれません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談しやすかった じっくり説明をきくことができ安心 待ち時間が長い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院へくるのが嫌にならなくなったという点や、何でも話ができるという声があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まだ1ヶ月なので充分ではありませんが、喜んで帰られる方が多いように感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話がしやすいとの意見が多い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話を聞いてもらっただけですっきりしました。とかいう声もあります。</li> </ul>

● 初診のみならず全経過女医を希望
● 「女性専用外来ができるのを待っていた」(京都市では当所が初だったので)「話を聞いてもらっただけで症状が軽くなった(消失した)」「婦人科的な診療をしてもらえるのかと思っていた(当所は総合診療なので)」「長い時間話を聞いてもらったのに料金が安い」「男性医師の言動で傷ついたことがある」など
● 男の先生には恥ずかしくてみられたくない・・・と。
● ゆっくり時間かけて話を聞いてもらってよかった。女性医師でよかった。
● 話しやすい
● 相談しやすい
● もっと予約枠を増やして欲しい。と
● 比較的気楽に受診できる。 症状について相談できる。 男性医師には言いにくいことも相談できる。 一人あたり結構の時間が確保されており、自分の聞きたいことについて医師にささいなことまで相談できる。
● 満足に帰られる方も多いがたまに遠方から来たのに??診断がつかない(改めて専門外来へでなおさなければならぬ)ことに対する不満や、婦人科又は内科の医師でないことへの??が聞かれることがある。
● 男性には言いにくいことを聞いてもらえる。 どの科を受診してよいか、どの病院に行ったらいいかわからない時にアドバイスしてもらえる。 女性外来は保険適用外で問診だけとしているので検査・治療の為には該当科を受診し直さなければならず、二重の手間である。
● 初めて病院で診察を受け、本当に感動すらしました。お世辞ではなく、体調の不良を抱えて受診して、こんなに満足し、かつ納得できた事はこれまで余り経験したことが無かったと思います。(30代女性) 初めて診察して頂くまで随分悩んでいたのも、女の先生に診察して頂けるという事がとても安心できてよかったです。(20代女性) 女性患者ばかりなので、待合室でも人の目を気にせずリラックスして過ごせた。 男の先生と違って色々恥ずかしい事も質問できた。 こんなにも痔で悩んでいる女性がいるのか、自分だけではないのだと安心した。
● 安心して医療が受けられる 自分としてはせっかく出会った病院なのに人気が出て待ち時間が長く困る。
● 現在予約が約3ヶ月待ちなので、診察日数を増やして欲しいとの要望があり、1日の診察患者数を増やすことで対応している
● 受診しやすい。相談しやすい。
● 『女性外来を担当してよかった点』に記載しました。
● ドクターショッピングをされていた方からは感謝されています。もっと早く知っていればの声は大きいです。地域の講演会や講座で聞いて受講される方もふえたので、説明時間は短縮できています。当院では特に女性外来と意識してくる人は少なく、多分ふつうの婦人科外来の感覚で来院されているのではないかと思います。
● 【女性医師に対する安心感】・女性の先生なので話しやすかった、身体のことの正直に話し、安心して診察を受けられた【総合診療のメリット】・複数の科で相談できる、身体の不調を色々な面から診てもらえるので安心できた。・症状にあった科を紹介してもらい、また検査をしてもらえた。・色々な科をたらい回しにされるのではなく、各科がつながっているという実感があり安心。・いきなり専門科に行きにくかったが、(女性総合診療から紹介されて)行くことができた。・各科の連携が良い【あらゆる症状・疾患への対応】・何科に行けばよいかわからなかったが、かかりやすい科でうれしかった。・どこに相談したらいいのかわからない不安の解消が図れた。・身体的なことだけでなく精神的なことを話すことができた。【詳しい説明での不安解消】・かかりつけ医の治療・薬が良いと確認してきてもらって自信がついた。・話をよく聞いてもらえ、原因整理ができた感じがした。・こちらの小さな質問にもわかりやすく丁寧に答えてもらった。【十分な診察時間】・時間をかけて話を聞いてもらえた、患者の気持ちをわかってもらえたことと実感した。・これほど長く医者と話したことはない(入院中でも)。 【定期検診、健康相談の面から】・今までは病気をすることがなく、近くに病院もなかったため受診したことがなかったが、これからは検診を定期的に受けたい。・久しぶりに自分の健康のことをゆっくり考えた。 ※外来システム改善への要望【診療枠増設の要望】・働いている女性の為、曜日・時間を多くして欲しい(毎日でも)。・予約が取れるまでの日数が長い。・午後のみでは受診しにくい。 【診療時間への要望】・診療終了まで当日思ったより時間がかかった。・専門科で診てもらった内容や検査を、日を改めることなくすべて1日で完結してほしい。 【専門診療科との混同、直接専門科への受診要望】・「女性総合診療」は産婦人科だと思い受診した。最初に内診があると思った。・女性の産婦人科医師がいるとよい。
● 賛同的 ・部屋の雰囲気明るい。 ・女性スタッフばかりなので気楽。 ・よく話を聞いてもらえる。 批判的 ・プライバシーをもっと守る努力を。(診察室の声が静かな待合室にもれていた頃。現在は対応済み) ・医師が若すぎ相談しにくい。 ・すぐ専門外来へ回された。
● ゆっくり話が出来てよかった。 あちこちの病院を受診する前にここへ来てよかった。
● 女性医師で話しやすかったし、スタッフも待っている患者さんも女性だけなので安心できる。 症状をよく聞いてもらえ、詳しく説明してもらえて納得できた。 抵抗ある肛門診療や大腸内視鏡検査を女性医師に担当してもらえてよかった。

- |  |
|--|
| <p>● 女性医師、スタッフによる診察や検査を待ちのぞんでいたのが嬉しい。<br/>リラックスして受診できた。<br/>安心して相談できた。<br/>身体を男性に触られなくなかったのが嬉しい。等々。</p>  |
| <p>● どこに相談していいのかわからず困っていた。<br/>列車で2時間のところまで2週間に1回通院していた。<br/>近くにあってよかった、ゆっくり話を聞いてもらって、これまでの不安、心配が解消した。<br/>更年期を考慮に入れて、全体的に診てもらえるので安心、更年期の過ごし方が老後の生活全般に影響してくると初めて知ってよかった。</p> |
| <p>● 同性なので相談しやすい。<br/>診察に十分な時間がかけられる。</p>  |

男性医師・産婦人科との連携体制	
●	地域の中で必ずしも患者が満足できる連携先が完備されているとは言えないが、現在までのところ紹介などもスムーズに行われているようだ。
●	単科クリニックのため
●	大学病院、総合病院等、地域の総合病院等、手術の紹介、精密検査の紹介etc緊急時対応など協力は十分得られている。が、女性医師というのは不可能でほとんど全て男性医師にお願いしている。
●	yes
●	他科依頼で適切な科を紹介したり、女性外来診療中に各科に電話相談をしており、支援は受けている。ただし、科によってはすぐに電話相談出来ないこともある。他科依頼は受診者が別の日に受診する必要があり、相談の上で紹介しても実際には受診しないこともある。
●	女性外来開設前より医局の先生方に支援体制についてお願いをしている為か今の所他科との連絡は上手にいつていると思います。また男性医師の先生から外来への紹介もあって今の所問題ないと思われます。
●	亀田メディカルセンターとに隣接する高度先進医療設備を備えた亀田総合病院も合わせて、男性医師・他科との連絡や支援体制は大変スムーズで問題ありません。
●	他科との連携はうまくいつています。(乳腺外来、骨粗鬆症外来)男性医師の理解は以前より改善されてきたが、勤務体制などの理解はこれからだと思います。
●	外科医師が乳癌検診してくれること以外、特に支援体制は整っていない。しかし眼科や耳鼻科など他科にコンサルトすれば快く診てくれる。
●	病院内の総合診療科、精神科、産婦人科の先生とは当外来の特徴を理解し協力していただいています。
●	はい。
●	整っています
●	当院は総合病院なので院内ですべて完了する。
●	医師会に属し、複数の大学病院、総合病院と医療連携体制をとっています。
●	全体的に良好
●	原則として他科に依頼する時も、女性医師に依頼している。専門によっては、男性医師に依頼することもある。必ず当センターの依頼状をつける。
●	初診は女性医師が担当し、必要に応じ男性医師、他科に御紹介します。と必ず説明しており、特に問題ははありません。体制は整っていると思います。
●	男性医師⇒外来スタッフになっている。 他科との連絡⇒難しい(病院の特殊性)
●	整っています。理解力のある患者様は、「次回から男性の専門医」とお話しでも潤滑に受診して下さいます。
●	はい。
●	ある程度は男性は仕方ないですね。婦人科・皮膚科の紹介はなるべく女医にしています。
●	男性医師と意識したことはありません。私が信頼できる医師に紹介する場合、全く性別は考えたことはありません。何科であれ、相手が女医でも男医でも最終的に村崎がそれをチェックし、コメントを出しますから。支援体制というほど明確なものはありません。
●	婦人科・漢方の医師とは更年期外来もあることから、うまく連携をとって診察ができています。他の科とも、特に女性外来だからということではなく、通常通りの連携で行なっていますが、特に問題ははありません。
●	まだほとんど整っていない
●	お陰様で概ね整っているものと考えます。科によっては予約がとりにくく、受診希望者の方にお待ちいただく事はあります。
●	整っている(院長が、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病、ホルモン関連疾患の専門医であるため)
●	院長(男性)と同時に外来をしていますのでご希望のある方は男性DRか女性DRをうかがっております。その他は順番で院長と交互に診察しております。
●	比較的良好だと思います。女性外来を行うことにより産婦人科診療が抜ける部分きわめて好意的に男性医師がカバーしてくれています。
●	“女性外来”のカルテでまわせば、対応は完璧です。
●	前述の通り、女性に関することはすべて院内で対応できる体制です。(とくに女性を強く意識して開設された病院です。)
●	十分とは言えないまでも整備されている。
●	あまり整っていない。
●	発足前はかなり密度の濃い打ち合わせを行い、スタート時より大きなトラブルはありません。きちんとした支援体制下で行っていると思っています。
●	他科紹介はどうしても後日になってしまうことが多いのですが、連携は整っています。乳がん検診に関しては、外科男性医師がマンモグラフィーの読影をしてくれますが(撮影は女性技師)異常がなければ外科受診はしなくてもいいように配慮してくれています。放射線科医師が女性医師の日に乳房エコー施行するよう手配して患者さんが気楽に受診できるようにしています。